



はるかぜ書房の新刊
平成29年9月上旬刊行



哲学を再創造する。

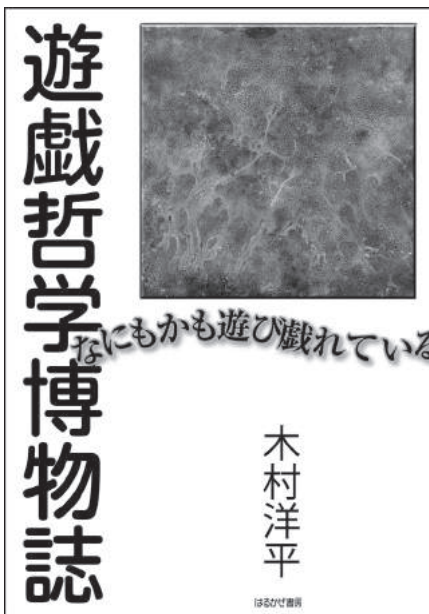
本書は、斬新な世界像を提示する哲学の正統な後継である。
軽やかな戯れと実に真剣な世界探訪の精神がともに根底に流れている。

廣野喜幸(東京大学教授 科学史・科学哲学)



遊戯哲学博物誌 なにもかも遊び戯れている

木村洋平 著



この本は、「遊戯」をキーワードとして
哲学の全体を一から再構築する。

古代ギリシアを中心に西洋哲学の伝統を受け継ぎながら、「世界」と「倫理」という二大テーマについて考え、その回りに論理、言葉、幸福、自由、生命、共同体といったテーマを配置していく。叙述の方法はユニークであり、世界史や生物の生態から採ったエピソードが散りばめられ、それらを素材として抽象的な概念を導く。その点で「博物誌」と呼べる独特の思考スタイルをもつ。本書はこういった新しい軸と方法論を用いて世界の全体像を描こうとする大胆な挑戦であり、喜びと肯定的な雰囲気満ちている。

はるかぜ書房 〒140-0001 東京都品川区北品川1丁目9番7号1015号
E-mail: info@harukazeshobo.com www.harukazeshobo.com/

ご注文申込書	注文数	はるかぜ書房 TEL 050-5243-3029 datafax 045-345-0397
	冊	ゆうぎてつがくはくぶつし 遊戯哲学博物誌 <small>なにもかもあそびたわむ</small> 木村洋平 著 ■A5判並製 240頁 定価 [本体 1760円+税] ISBN978-4-9908508-1-4 C0010 ¥1760E

ご注文はJRCへ FAX03-3294-2177 TEL 03-5283-2230

※返品条件付き注文扱い